● 令和 8 年度　第 5 回　講演会　『1 型糖尿病』 ●

講　　師：県立広島病院　小児科　神野　和彦　先生
実施日時：令和 8 年 10 月 19 日（月）14：00～15:30
会　　場：オンライン開催（ZOOM 使用）
対 象 者：1 型糖尿病のこどもの家族、支援関係者、関心のある方
参 加 者：養護教諭 12 名、看護師 9 名、保健師 4 名、家族 3 名、教諭 3 名
　　行政 2 名　（計 33 名）
担当：東部保健所福山支所

●講演内容

① 1 型糖尿病の基本的なお話
　・診断
　・治療　（インスリン注射・ポンプ）
② 低血糖時の対応
③ 持続血糖モニター（CGM）・インスリンポンプ療法
④ 小児期から成人に至るステージ別の考察
⑤ 学童期の糖尿病キャンプ





●アンケート結果より

＜参加された方の感想＞

「神野先生のとても丁寧な解説に感謝しています。実際の例をとったデータ等を教えていただき、とても参考になり、また希望も見えました。ありがとうございます。ちょうどコロナ禍の時に発症したこともあり、もみじの会キャンプへ参加できずにいます。親としては参加させたかったけど、時期やタイミングが悪かったです。今はもう高校生になり、本人は自分の症状と向き合い対応もできており内面の成長を感じる日々ですが、まだまだ血糖コントロールは難しいです。せめて、同じ病気の子と友達になれたら心強いのにな…と親としては思っています。寺西先生のおっしゃる通り、困った時の窓口としてのもみじの会参加はとても良いアイデアと思いました。今回、講演会に参加できてとても良かったです。ありがとうございました。」

「実際に呉市内の認定こども園や保育所等で I 型糖尿病のこどもの対応に携わっております。呉市の取組を事例としてあげてくださりありがとうございます。もみじの会の寺西さんの言葉にありました、「インスリンが必要なだけで特別な子ではない」という部分は他の医療的ケア児にも通じる所があります。市として引き続き医療行為が必要な子ども達や保護者の思いに寄り添い、発達段階において重要な時期である乳幼児期に

安全で安心に集団生活を送ることが出来るよう支援をしていこうと思います。神野先生のお話はわかりやすく、もっとポンプの仕組みや考え方等を詳しく聞いてみたいと思いました。ありがとうございました」

「昨年度も参加させていただきました。大変勉強になる講演です、ありがとうございます。毎年拝聴し、知識の上書きをしていきたいと思いますので、継続した実施をよろしくお願いします。講演内容も分かりやすく、また後半の質疑応答では、チャットを使って質問ができるので、とても質問しやすいです。今回も丁寧なご回答をありがとうございました。また来年度も開催予定でしたら、参加したいと思います」

「野外活動を来年に控える児童がいます。神野先生や寺西先生の宿泊行事への対応のアドバイス参考になりました」

「糖尿病キャンプの存在とその有用性を知る事ができたり、思春期など内面からコントロールが影響を受ける点など、色々聴くことができて良かったです」

●担当者より一言

1型糖尿病の概要から診断、最新の治療や成長段階に応じた対応や学童期の糖尿病キャンプに至るまで大変分かりやすいお話を頂きました。今年も事前質問から学校や園での対応について講師から的確なアドバイスもいただき、当日もオンライン参加の皆様から質問をお受けしました。講師に加え、患者会の「もみじの会」会長からも大変有益なアドバイスを頂き、もみじの会の活動についてもお話頂きました。今回も養護教諭など関係者からのご参加が多数あり。アンケートでもたくさんのご感想を頂きました。